

平成22年度ながさき自治振興推進大会  
(平成22年11月6日、長崎市民会館文化ホール)



三菱重工 関連労連長崎地域連絡会第14回総会  
(平成22年12月3日、長崎支部労働会館)



第3回UN-1グループ「ユニオン世界大会」  
(平成22年11月9日、長崎県立総合体育館)



三菱重工労組長崎支部 結成45周年記念祝賀会  
(平成22年12月7日、ホテルニユー長崎)



◆長崎まちなか龍馬館運営費……………946万円  
長崎における「龍馬観光」の定着を図るため、長崎まちなか龍馬館を直営に切り替えて継続するとともに、さるく観光の一層の推進と観光インフォメーション機能の充実を図る。

◆伊王島ふれあい広場運営費……………435万6千円

伊王島大橋架橋後の島内観光の振興や交流人口の拡大を図るために開設する伊王島ふれあい広場の運営に要する経費を計上する。

◆伊王島観光推進事業費……………1,240万6千円

伊王島大橋架橋後の島内観光の振興や交通混雑の緩和を図るため、電動アシスト付自転車等を整備する。



地域活性化が期待される伊王島地区

◆やすらぎ伊王島送迎バス購入費……………1,400万円

伊王島大橋の架橋に伴い、島内観光の中核施設である「やすらぎ伊王島」の更なる利用促進と利便性向上を図るため、送迎用のバスを購入する。

◆長崎まちなか龍馬館条例

坂本龍馬が活躍した幕末を中心とする本市の歴史及び文化に関する資料を広く市民の観覧に供し、もって市民の文化の向上及び観光の振興に資するため、長崎まちなか龍馬館を設置したい。  
施行日 平成23年4月1日から1年間



ベルナード観光通りパトリエルの龍馬館

活力あふれる 住みよい長崎!

長崎市議会議員

井上重久 No.18 だより



平成23年1月 発行責任者 井上 重久 編集責任者 大當飛雄馬 長崎市水の浦町1-1 TEL095-861-6032

迎春



長崎港に寄港した飛鳥II

活力あふれる 住みよい長崎を!

ご家族お揃いで健やかなお正月をお迎えの事とお慶び申し上げます。昨年は議会活動・地域活動など皆様には大変お世話になりました。私はいよいよ、皆様のお力で「議会活

動」「地域活動」などを通じ、真面目に働くものが報われる政治・弱いものにやさしい政治」を目指して「活力あふれる 住みよい長崎」をスロガンに、①お互いに支えあう②公平公正な社会③幸せを求めて活動を進めてきました。議会においては、

地域活性化に向けて!

長崎市の人口推移は、平成22年は4万4千人、10年後の平成32年には40万人、20年後の平成42年には35万人との予測がされています。現在、65歳以上の高齢化率は24・8% (11万人)、5年後の平成27年は29・5% (12万4千人)と見込まれ急速に高齢化が進んでいます。長崎市の現状は、人口減少・急速な高齢化社会のなかで、若年層の県外流出による過疎化も進み地域の活力が失われ、危機的な状況が懸念されています。長崎で暮らしたいと思っても働く場所も少なく、若者が県外に出て行かなければならない状況にあります。

このような状況を打破すべく、今年度は地場産業の活性化による雇用確保、若者が働きがいのある産業の育成、行政運営の効率化、住民負担にふさわしい税金の有効活用等に注力して行きます。本年4月には、統一地方選挙が施行されます。二期目の戦いは、市町村合併により現議員定数51名から40名の削減が決まっておりますが、厳しい状況にありますが4年間の経験を活かし頑張る決意です。今後とものご支援・ご指導をよろしくお祈りいたします。

長崎市議会議員 井上 重久

▼新年明けましておめでとうございます。さる、12月16日(木)18時30分より全日空クラブパーヒルにおいて、約140名の参加のもと「渡辺敏勝・井上重久と語る会」が開催されました。後援会役員の皆様より激励を受け、井上市議より「まじめに働く者が報われる政治・弱いものにはやさしい政治を目指す!」との決意が示されました。渡辺・井上コンビには、市民の視線にたった活動を期待するものです。

▼干支の卯(う)の特徴は「温厚で従順」。縁起話は、兎の穏やかな様子から家内安全、跳躍する姿から飛躍を表しているそうです。本年4月は統一地方選挙、二期目に挑戦をする「井上重久市議」、二期目のジレンスを蹴飛ばして大きく飛躍しなければなりません。そのためには、後援会獲得運動による支援者の拡大を図る必要があります。関係者の皆様には大変お世話になりました。本年もご健康で幸多き年でありますように祈念致します。

ご相談は お気軽に! 長崎市議会議員 井上重久 自 宅 長崎市大浜町408 ☎ 865-3553 生活相談室 長崎市水の浦町1-1 ☎ 861-1985 http://inoueshigehisa.net/

平成22年第5回定例会(11月議会)開催!

補正総額27億9,648万円(一般会計20億9,114万円含む)、37議案を可決・同意!!!



長崎市議会平成22年第5回(11月議会)定例会は、11月24日から12月13日までの20日間の日程で開催されました。今議会は、平成22年度一般会計補正予算(20億9,114万4千円)では、債務負担行為の障害者交通費助成事業(4,672万円)、高齢者交通費助成事業(2億5,112万円)は検討内容が不十分である事から削除され、病院事業会計の新市立病院整備運営事業委託費(639万5千円)は減額修正となりました。条例改正では、長崎まちなか龍馬館、懲戒処分などを審議する「市職員分限懲戒審査会」に外部の人材を加える条例、地方独立行政法人長崎市立病院機構定款等31議案を可決・同意しました。議員提出議案の「長崎市議会基本条例」「農水産物の貿易自由化に関する意見書」他3議案を可決、請願3件のうち「取調べの可視化(取調べの全過程の録画)」の速やかな実現を求める請願について「1件を採択しました。」

補正予算の主な内容

一般会計

- 職員給与費 20億9,114万4千円
- ▲5億6,618万5千円 期末手当及び勤勉手当の引き下げ等の給与改定及び中途退職等による不用額の調整分。
- ◆財政調整基金 9億8,833万2千円 一般会計の平成21年度決算剰余金の一部を積み立てる。
- ◆職員給与費
- ◆国・県支出金等返還金 12億2,386万4千円 過年度事業費の確定等に伴う国・県支出金等。
- ◆グループホーム等設備整備費補助金 8,971万3千円 消防法施行令の改正等に伴い、スプリンクラー設備等の整備を実施する民間事業者へ助成する。
- ◆未熟児養育医療費 1,274万5千円 未熟児養育医療費において

一般質問(要旨)

て、申請者数が見込みを上回ったことに伴い増額する。

◆私立幼稚園就園奨励費補助金 4,281万円 私立幼稚園において、保育料等の減免対象者数が見込みを上回ったことに伴い増額する。

◆公的資金繰上償還分 1億8,595万6千円 国の公債費負担対策に基づき、補償金免除により高金利の市債(旧簡易生命保険資金)を繰上償還する。今回対象分・年利6.5%以上のももの



地場企業による新事業・新製品の取り組みについて

質問 新事業・新製品の取り組み状況と雇用創出状況は?

回答 長崎出島インキュベーター(D-FLAG)には、9月末現在で企業18社が入居している。入居時の雇用者数は36人、現時点で51人となっております。増加している。新エネルギー・環境分野は「水質改善装置の開発」「太陽光発電システム」の設置工法の開発、医療・福祉分野は「メンタルヘルス健診事業」「心の健康関連商品の開発」、情報・電子分野は「認知症患者のリハビリテーション支援システムの開発」「LED・無線LAN事業の開発・研究」等が行なわれている。事業化に向けては、市場性・コストなど課題を解決する必要がある、産学連携を強化し支援していく。

(仮称)福田バイパスの早期事業化と国道202号の整備状況について



マリナシティ・ファミリーマート前の歩道整備が待たれる!

質問 福田バイパス建設促進期成会等の地元陳情を受けての対応は?

回答 来春長崎南環状線の開通により、福田地区の自動車交通量はさらに増加が予想される。国道202号の安全対策として、バスベイの設置や危険箇所部分の拡幅、一部区間の歩道の整備など改善に向けて引き続き対応していく。県は、現

段階で新規に事業化することとは財源面などから難しいとの見解である。本年は、長崎県との今後の道路整備に関する協議の中で、福田バイパスについて今後の重点事業として要望を行った。今後とも、市政問題協議会などの場を通じて働きかけを行っていく。

再質問 総点検パトロールにおいて、危険箇所が指摘されているがその対応は?

回答 平成20年4月に交通安全総点検を実施、国道・市道あわせて19箇所の指摘事項があった。そのうち、カーブミラーの調整、道路の白線の引きなおし、舗装の改修等既に13箇所改善済みである。今年度改善予定1箇所、検討中2箇所、現状困難なもの3箇所となっている。特に危険な場所の中浦バス停付近・小浦町と福田本町の町境部分のカーブ地点は一部用地の提供があり整備が行なわれた。し

斜面市街地再生事業について

質問 「水の浦地区」「岩瀬道・立神地区」の進捗状況と今後の計画は?

回答 水の浦地区は、ホテル清風付近から水の浦公園付近につながる生活道路のうち、新設区間459mにおいて用地買収・建物買収除去を行い、事業費ベースの進捗率は17%となっており、早期に道路改良工事に着手できるように地権者と協議を行っている。立神・岩瀬道地区は、三菱重工業長崎造船所本館ビル付近から東立神町に至る生活道路400mにおいて、事業費ベースの進捗率は21%となっており、今年度から道路改

良工事に着手し年次計画により整備を進める。今後とも、まちづくり協議会との連携で権利関係者に対するきめ細かな対応に努め、早期完成に向けて取り組む。



岩瀬道町東立神町1号線の工事がスタート

老朽危険空き家対策について

質問 建築基準法に伴う行政指導による取り組みは?

回答 建築物は、本来その所有者が適正な維持管理に努めなければならぬが、老朽化により倒壊などの危

険性が増し、周辺住民に不安を与えるケースがある。市では、建築基準法に基づき、所有者などに対して口頭や文書などにより、除去や改修等の適正な維持管理の指導を行っている。その結果、平成18年度は49件、平成19年度は45件、平成20年度は32件、平成21年度は15件の除去や改修がなされている。しかし、所有者の経済的問題や権利問題、所有者が不明などの理由で放置された老朽危険空き家も存在している。その対策として、平成18年度から地域の安全性向上に向け、新たに老朽危険空き家対策事業を創設し、積極的に取り組みを進めている。



自席からの再質問